

令和8年度 第1回 松野町まちづくり委員会会議録

日時：令和8年7月1日（水）13:30～16:00

場所：松野町コミュニティセンター1階 屋内スポーツ広場

【委員（出席者）】

氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠
酒 井 博 司	出	長 谷 信 昭	欠	井 上 重 人	出
岡 村 勝	出	金 谷 恒 夫	出	三 好 まり子	出
関 本 豊	出	岡 本 弘	出	毛 利 伸 彦	出
山 木 幸 三	出	山 下 武 久	出	山 下 智 恵	出
須 田 正 文	出	中 森 京 司	出	—	—
有 馬 広 記	出	河 野 祐 一	出	—	—
森 英 雄	欠	谷 清	出	—	—

～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

- ・第6次松野町総合計画の検証について
- ・令和8年度実施予定事業の説明について

4 自由討議

令和8年度第1回松野町まちづくり委員会の開催結果について

日時：令和8年7月1日（水）13:30～16:00

場所：松野町コミュニティセンター1階 屋内スポーツ広場

参加委員：酒井委員、岡村委員、関本委員、山木委員、須田委員、有馬委員、森委員、金谷委員、岡本委員

山下（武）委員、中森委員、谷委員、井上委員、三好委員、山下（智）委員

町参加者：坂本町長

小西課長（総務課）、谷口課長（防災安全課）、中井課長（農林振興課）、井上課長（建設環境課）、浦田課長（町民課）、山崎課長（保健福祉課）、戎課長（教育課）

友岡課長、石田課長補佐、村越主事（ふるさと創生課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（坂本町長）

2. 協議事項

(1) 第6次松野町総合計画の検証について

ふるさと創生課が資料に基づき総評を行った後、関係各課から実施事業について説明を行った。

発言者	内容
	（インバウンド誘客について）
委員	KPIの観光入込み客数について町民・町外・インバウンドとした内訳・割合は把握していないのか。インバウンドを狙った観光も進めていく必要があると考えており、空き家等を活用し滞在型の観光まちづくりも取り組んではどうか。
事務局	インバウンドの状況について把握はできていない。観光・宿泊施設等の関係者のスキルや案内表示の環境等、受け入れ態勢がまだ整っていない中、どのように誘客を進めていくかについては、現状の把握から始めなければならない状況である。
	（歴史文化施設、観光・文化イベント等の来場者数について）
委員	KGI（歴史文化施設等への来訪者数）について達成しているが、PRや問い合わせ数等の増加に対しては少ないのではないか。
事務局	各種媒体によるPRを試みているところ、周知時期の遅れ等により効果が限定的なところがあるかと思われる。町においてはできるだけ早い段階での周知等に努めるとともに、よりよい周知方法等については御意見・情報をいただきたい。
	（えひめAI-1について）
委員	KPIを達成しているところではあるが、改めて配布方法・使用方法について伺いたい。

事務局	食品由来の微生物を培養したもので、2Lペットボトルに入れて各公民館において配布している。トイレや排水溝に流すことで悪臭を防ぐことができる。県外においても活用事例が多くあり、四万十川水系においても相性がよいと思われることから、周知に力を入れてまいりたい。
	(町営住宅について)
委員	町営住宅の管理戸数の空き家が増加していると推測されるが、状況はどうか。
事務局	需給のバランスを確認しながら町営住宅を団地ごとに廃止している。入居者募集で空き家状態は2, 3戸ほどで、実際に空き家なのは10~20戸ほどであるが、最終的に廃止するものについては準備を進めているところ。
	(商工会会員数について)
委員	KPI実績に補足して、新規3人・脱退8人となっているところ、商工会継続のために勧誘に力を入れている。町内の事業者数に対して入会割合が県内一であることを申し添える。
事務局	商工会の尽力については町も把握している。
	(広報誌の行事予定について)
委員	イベントの周知については活用できるのでないか。
事務局	イベントが確定してからでは、広報誌への掲載には間に合っておらず、夏祭りのような大きいイベントでないと掲載は難しいところである。イベントの確定時期を早められるよう庁内外に協力を求めたい。
	(ビジターセンターの経済効果について)
委員	多くのお客様が訪れる中で、経済効果や売上高について知りたい。
事務局	委員に(NPO法人)森の国ネット代表がいるため、話をお伺いしたい。
委員	森の国ネットにおける売上げは飲食・キャンプ場・釣り体験・水道管理等からなり、500万程度である。ただし、売り上げの8割は町の指定管理であるため、観光等の売上げだけでは小さめである。なお、インバウンドについては月30人程であり、欧米からの来訪がほとんどである。

(2) 令和8年度実施予定事業の説明について

資料を委員に確認いただき、一部補足説明を行った。

	(プラスチック資源の回収について)
委員	プラスチックの回収場所を3箇所から10箇所に増設できないか。
事務局	プラスチックの資源化に向け、増設についてはもちろん考えていきたい。また、増設のみではなく、より回収できる仕組み作りについて検討していきたい。
委員	可燃ごみとして出されているところや、回収場所できれいに集まっていないところを見たが、分別等の周知が足りていないのではないか。

事務局	現状、建設環境課で毎日回収しているが、回収が追いついていないぐらいにプラスチック資源として出してもらっているところ、人員やコストについて調整していきたい。 また、周知については媒体を増やすなどで力を入れていくことに加え、資源の再利用の本質的な部分についても伝えることで、住民の理解を得ていきたい。
-----	--

3. 自由討議

	(キルターボードの使用状況について)
委員	キルターボードの使用状況はどうか。また、水曜日にスポーツ広場の利用とかぶって使用できなかったと聞いた。
事務局	昨年度の段階で、登録者が168人、町内の登録者が20人ほど。令和5年度の利用が300人余り、6年度が160人ほど。初期段階は指導者がおり、呼びかけ等により活用があったところ、今後の活用については協力隊や方法等について検討していく。 また、水曜日は定休日として条例で定めているため、理由は異なると思われる。
委員	利用者が減っているところ、練習のみではなく大会やイベント等による活用方法について検討いただきたい。
委員	町民の利用が少ない中で、スポーツ広場のスペースを占めていることはいかがなものか。スポーツとして広めていくことや将来の展望が重要になると考える。
	(まちなか交流館（あつまれ！）の開館日について)
委員	GWや夏休み期間についても火・水・祝日を閉館日とするのか。職員もいるため当該期間中は祝日等もっと開館するのが良いのではないか。
事務局	施設の設置当初に運営時間等については検討の上、条例により定められている。また、当該施設の職員（集落支援員）は施設管理だけではなく、町内に出ていく業務（空き家調査等）も抱えている。1年間運営をしたうえで改善点等について町でも協議していきたい。
	(予土線サポータークラブについて)
委員	サポータークラブに加入することで、ぽっぽ温泉の入湯料の割引適用等様々な特典が受けられる。一方、車で訪れるなど予土線を利用しない人たちが特典を受けている状況は趣旨と異なるのではないか。
事務局	予土線を利用しない方がサポーターに加入するのは筋違いという見方もあるが、松丸駅は温泉施設でもあるため、立ち寄り、関心を抱いてもらう等、乗車の機会が少なくても様々な形で応援できる仕組みとして取り組んだものである。

	これは直接事業を応援する仕組みの展開が必要ではないかという意見として、サポータークラブの事務局としても受け止め、努力していく所存。
	(災害対策について)
委員	保育園や小学校等のガラスに飛沫防止フィルム等の設置はできていないのか。
事務局	中学校の体育館は現在対応中であるが、他はまだできていない状態。
委員	是非、進めていただきたい。
	(観光入込客数の算出方法について)
委員	KPIの観光入込客数の算出方法についてはどのようなになっているのか。
事務局	町独自の計算式となっているが、観光施設の入館者数やレジのレシート数等に対して一定の倍率を乗じて算出しており、概算となるがその計算式を続けているところ。